



所信声明

健康や母体の安全に影響を及ぼす債務取消および経済政策

Debt cancellation and other economic policies that affect health and safe motherhood

背景

債務返済に迫られている発展途上国では、保健医療の水準が低下することが多くみられ、健康に悪影響を及ぼしている。債務は、今日我々の世界経済システムに内在するものであり、このシステムは貧しい国よりも富める国に有利に働く。近年の先進諸国の景気後退により途上国からの輸入に対する需要が減少し、開発途上国はニーズを満たすために否応なく借金をせざるをえない。返済には高い利率が課され、借金の容赦ない悪循環が生まれる。国外の債権者たちは公益事業への支払を優先しているが、それでも債務は増加しても減少しない。

女性と子どもは特に、劣悪な栄養状態と生活環境に置かれ、無料もしくは安価な保健医療や家族計画を利用できないことにより苦しんでいる。また女性と少女は、良好な健康状態であるための重要な鍵である教育を受ける機会も少ない。女性は家庭の外で重労働を余儀なくされ、育児や授乳に時間をとることができない。

国際通貨基金と世界銀行は、借金を肩代わりする代わりに、貧困（および、それによる健康状態の悪化）を増大させるような条件を課している。これは構造調整計画（SAP）という条件で、各国の政府に次のことを強要している。

- 保健医療や教育などのサービスに関する公的支出を大幅に削減する。
- 食料などへの政府補助金を削減する。
- 輸出を増加させる（そのために人々をその所有する土地から追い出されることが多い）
- 人々が払えないほど、税金を増額する。

見解

ICM は、貧困と不平等を解消するためのより幅広い経済構造改革プログラム（発展途上国にとって公正な貿易条件を含む）の重要な一部として、重債務に苦しむ貧困国の完全な債務取消を支持する。

ICM は、健康と母体の安全が貧困と不平等を減少させる経済の実践と密接に結びついていると認識する。

ICM は、以下のように考える。

- 多くの発展途上国において、債務返済は政府および政府の十分な母子保健と保健医療を提供する能力に負の影響を与える
- 母体の安全を含む保健の向上のためには、完全な国際債務の取り消しが必要である

会員協会への指針

会員協会には、完全な債務取り消しを目指した各地の組織活動に参加しなければならない。

その他の関連文書

Sachs J. (Chair). Macroeconomics and health: Investing in health for economic development.

Report of the Commission on Macroeconomics and Health, Geneva: World Health Organization, 2001.

IMF. 2013. Factsheet: Debt Relief under the Heavily Indebted Poor Countries (HIPC) Initiative

IMF. 2013. HIPC at a Glance. Fall 2013.

<http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/TOPICS/EXTDEBTDEPT/0,.contentMDK:20260411~menuPK:64166739~pagePK:64166689~piPK:64166646~theSitePK:469043,00.html>

2008 年、グラスゴーでの国際評議会にて採択

2014 年、プラハ国際評議会にて見直し・採択

次回の見直し予定：2020 年

2016 年 公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会 訳

ICM発行文書の原文については、ICMが著作権を有します。

日本のICM加盟団体である日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会は、ICMの許諾を得て日本語に翻訳しました。

日本語訳の著作権については、原文作成者であるICMと日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会に帰属します。

原文の転載引用については、ICMに連絡し使用許諾を得てください。

日本語訳の転載引用については、日本助産師会<http://www.midwife.or.jp/>に連絡し使用許諾を得てください。